

住民参加型 清流猪名川を取り戻そう町民運動 いなぼうシール 新しい広報活動について

小川 紀之・羽牟 秀幸・鍋谷 将・古木 良一・前田 悟
(清流猪名川を取り戻そう町民運動 川ネット部会)

1. 発端 清流猪名川を取り戻そう町民運動のスタート

清流猪名川を取り戻そう町民運動（以下、清流猪名川）とは、故郷の美しい川「猪名川」を次の世代に残していくことを目標に、各種団体・住民などから約40名の委員が集まり平成18年に発足した。4つの部会（川と親しむ部会、川と水と人の部会、川づくり部会、川ネット部会）に分れて活動している。また、発足と同時に「猪名川町と兵庫県立人と自然の博物館協力協定書」を取り交わし活動を進めている。

2. 決意 川ネット部会について

川ネット部会の主な役割は、清流猪名川の活動を住民に向けて広く発信し、多くの住民の関心を集め、広範な住民運動へと発展させていくことにある。委員の出身を見てみると、大型スーパー店長、郵便局長、小学校の先生、国土交通省猪名川河川事務所、住民代表など多彩な人材が揃っている。最初に活動方針を検討した際に、① 受身にならず積極的に広報を進める。② 従来とは一味違った方法で広報する。の2点を目標とすることを確認した。

3. 展開 現在までに進めた活動

① 絵画展の開催

猪名川に住む小学生・幼稚園児を対象に「こんな猪名川になったらいいな」をテーマに平成18年9月に第1回を実施。

特選者には作品を記念切手にして贈呈している。

② マスコットキャラクター「いなぼう」の創作

清流猪名川のマスコットキャラクターを公募で製作。絵・ネーミングともに猪名川町在住の女子中学生の作品が選ばれた。

③ いなぼうシールの創設

独自の広報手段として、「いなぼうシール」を製作した。図柄は「いなぼう」を採用。

ステップ1 運動に賛同した町内の事業者・個人で寄附をいただいた方にシールを配布（寄付金の発生）

ステップ2 事業者はそのシールを商品に添付して販売する

ステップ3 消費者はシール添付の商品を選択して購入することで運動に参加・支援することができる

発生した寄付金は独自の活動資金として、川に親しむ行事の開催、川岸への植樹、絵画展などに使う予定である。将来的には地域通貨との連動も視野に入れている。この2月に印刷が完了し、普及期間を経て4月より本格運用の予定。



いなぼう

4. まとめ 今後の展望

約一年間の準備期間を経て、ようやく本格運用目前にまで漕ぎ付けることができた。今後は「いなぼう」の育成・普及を通じて、シールの付加価値を高めていき、「いなぼうシール」が一人歩きできるまで見守っていきたい。